

【 第二部 テノール独唱 】

小貫岩夫 (おぬき いわお) 氏



プロフィール

北海道出身。同志社大学卒業後、大阪音楽大学首席卒業。文化庁オペラ研修所第11期修了。飯塚新人音楽コンクール声楽部門大賞(文部大臣奨励賞)をはじめ、数々のコンクールで優勝、入選する。読売新人演奏会に出演。音大在学中の95年、堺シティオペラ「魔笛」タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムら世界的歌手と共演し、デビュー。この成功により、ドイツ・ケムニッツ市立歌劇場から招聘を受け、96年同役で出演し、地元紙より好評を得る。98年より文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノへ留学。2000年、R. シュトラウス「サロメ」(若杉弘指揮)で新国立劇場デビューを飾り、その後二期会を中心に数々のオペラに出演。02年二期会・新国共催「忠臣蔵」岡野金右衛門、二期会「ニュルンベルクのマイスタージンガー」難役ダーフィット。04年新国・二期会共催「鳴神」(市川團十郎演出)では白雲坊役を好演。06年、二期会「コジ・ファン・トゥッテ」(宮本亜門演出・文化庁芸術祭大賞受賞)フェランド役。08年、新国立劇場新制作の「トゥーランドット」ではポン役を好演。演出家はじめ、スタッフからの絶大な信頼を得、その模様はNHKで全国放送された。またブリテン「ねじの回転」のプロローグとクイント(01)などで新国小劇場に出演する他、びわ湖ホール、兵庫県立芸術文化センター、日生劇場へも度々出演している。09年には、ワーグナー「パルシファル」のタイトルロールを見事演じ切り、新たな境地を開いた。また二期会公演「魔笛」(実相寺昭雄演出)には07年、10年と2回連続タミーノ役で出演し喝采を浴びた。近年はオペレッタの分野でも活躍。「こうもり」のアイゼンシュタイン、「チャールダーシュの女王」のエドウィンなどで演技力を発揮している。コンサートでは、04年マルコ・アルミリアート指揮、読響による歌劇「道化師」(演奏会形式)などの他「第九」「メサイア」「レクイエム」(ヴェルディ、モーツァルト)などでも高い評価を得ている。リサイタルにも、大阪で5年連続、2010年には東京と大阪で開くなど、積極的に取り組んでいる。またNHK-FM「名曲リサイタル」に出演。06年には、武道館での公演、なかにし礼作・世界劇「黄金の刻(とき)」で厨子王役を歌い、大晦日にNHKで全国放送されるなど、活動の幅を広げている。二期会会員

コンサート曲目

- | | | |
|---|-----------------------------|-----------|
| 1 | 天使の糧 | フランク作曲 |
| 2 | 神の子羊 | ビゼー作曲 |
| 3 | 帰れソレント | デ・クルティス作曲 |
| 4 | 妖精の瞳 | デンツァ作曲 |
| 5 | オペラ「リゴレット」より
女心の歌 | ヴェルディ作曲 |
| 6 | 出船 | 杉山長谷夫作曲 |
| 7 | 落葉松 | 小林秀雄作曲 |
| 8 | オペラ「トゥーランドット」より
誰も寝てはならぬ | プッチーニ作曲 |